



高梁中学校科学部



児童生徒が手作りしたホームページの出来栄を競う、岡山県スクールインターネット博(県小・中学校長会などで行う)同博協議会主催、県教育委員会共催)で高梁中学校科学部が作成した「時を越えて〜高梁中と姉妹校・亀山中の交流〜」が審査員特別賞・山陽放送賞を受賞しました。最優秀賞は逃したものの中学校部門で最高の賞です。今回のテーマは「交流」で、県内の小中学校、養護学校など75校から128作品の応募がありました。

科学部は1回目から4年連続で応募しており、同賞受賞は2回目。現在、部員は9人で毎日放課後や土曜日の午前中に活動しています。

受賞した作品は、高梁中と平成元年に姉妹校縁組を結んだ三重県亀山市立亀山中との交流の様子や、両地域の特徴などを動きのあるページで紹介しています。

最終審査で2分間、内容を発表した部長の2年山内祥司君(4)

## アイデアいっぱい僕らのホームページ

県スクールインターネット博 審査員特別賞・山陽放送賞受賞

は「あの日は38度の熱があつたんですが、繰り返し見てもらえるように工夫して作ったことを一生懸命に伝えました」と振り返ります。

指導にあつた顧問の高田誠教諭(30)は、「科学部という目立たない部活動ですが、勝つことにこだわって結果を残そうと頑張りました。パソコンを使うことは一つの手段に過ぎません。発表するなどの経験を通して、人前できちんと物が言えるなど、生きていく上で大切なものを学んでくれたら」と部員たちに期待を寄せます。

同科学部は、昨年10月に行われた中学生のプレゼンテーションコンテスト「プレコン甲子園 Jr」でも中国地方でグランプリに輝きました。

受賞作品「時を越えて〜高梁中と姉妹校・亀山中の交流〜」は、  
<http://www.kibine.jp/~takacbus/science/>に覧になれます。



専務理事 石井勝司さん(45)  
(原田南町)

昨年の11月から12月にかけて、ポルカ天満屋ハピータウン(中原町)等で撮影が行われた、映画※「県庁の星」。この撮影に際して、たかはしフィルム・コミッション(たかはしFC)の石井さんは、ロケ現場を提供した同店舗や映画スタッフ・監督との連絡調整窓口として奔走しました。「エキストラの募集、出演日程の調整など、本当に苦労しました。皆さんの協力のたまものです」と振り返ります。ほとんどの撮影は、深夜から朝にかけて実施。市民エキストラは、延べ800人を超えました。

たかはしFCは、平成16年9月に設立され、メンバーはボランティアで約50人(18団体含む)。市内での映画やテレビ、CMなどのロケ誘致や撮影をスムーズに行うためのエキストラの取りまとめ、宿泊施設等の紹介など、さまざまな支援を行う非営利機関です。

高梁市は、映画評論家の水野晴郎さんの出身地であり、映画「男は

## 観光資源を活かして 高梁市を全国にPR

たかはしフィルム・コミッション(たかはしFC)

## 駆け抜ける人

つらいよ」では、2回もロケ地になつたまちとして知られています。石井さんは「映画のまち高梁を生かさない手はない。この観光資源を活用して高梁市を全国に発信しよう」と設立のきっかけを話します。

これまでに「火垂るの墓」(ロケ地 成羽町吹屋)など6本の映画、テレビ番組のロケを誘致。「今回の成功は、これからの活動の自信につながります。新たな試みにチャレンジし前進していきます」と確かな手ごたえを感じています。

ロケ(「県庁の星」の様子を伝える「パネル展」が開催中(映画上映終了日までポルカ3階)。

たかはしFCでは、エキストラの登録者を募集しています。お気軽にお問い合わせください。(同事務局/観光協会内☎0461)



買い物客にふんして熱演する市民エキストラ  
 ©2005「県庁の星」制作委員会



# 高梁子どもフェスティバル

～みんなの夢で咲かせよう  
大きな花を～

順正短期大学 幼児教育科  
助教授 前 嶋 英 輝

順正短期大学幼児教育科の主催で、恒例の「高梁子どもフェスティバル」を開催します。毎年、会場が満席になるほど、多くの皆さんにご来場いただき誠にありがとうございます。

今年は楽しく参加できるフェスティバルを目指して、内容も一段と面白いものを選びました。幼児教育科の学生をはじめ関係者一同、たくさんのお子どもたちと楽しい時間が過ごせるのを心待ちにしています。



【内容】  
「ピノキオ」「11匹のネコ」ミュージカル  
「みんな集まれ！～さあいこう！マーチングの国へ～」ステージドリル  
「believe」「いつでもだれかが」合唱  
■日時：3月4日（土）13:30～15:30  
■会場：総合文化会館（原田北町）  
■主催：順正短期大学幼児教育科  
後援：高梁市教育委員会

■問い合わせ 高梁学園広報室 フリーダイヤル0120-25-9944 / e-mailアドレス:koho@kiui.ac.jp

## 編集後記

暦のうえで立春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続きます。今月号では、子どもたちの登下校を見守る大学生や地域の「自主防犯ボランティア」取材しました。わが家にはわんぱく盛りの3人兄弟がいます。登下校時には、地域の老人会などの方々、子どもらを見守ってください。

「本当に「感謝」しています。取材を終えた日の夜には、家族で子ども110番連絡所の場所を再確認し、家族それぞれの立場で、自分にできること、しなければならぬことを考える機会にもなりました。凶悪犯罪がはびこる現代社会ですが、安心して暮らせる「高梁」を願っています。」  
(KN)



楽しいことが一番!

虹の会

代表 丹正ミノルさん(70) 備中町平川

わたしの健康づくり

銭太鼓と傘踊りを楽しむ虹の会の皆さん。メンバーは現在8人。練習は第1・第3木曜日の午後、ひらかわいこいの家で約2時間行っています。虹の会は平成10年に結成。独り暮らしのお年寄りを集めて会食をするボランティア等を行っていて、食事だけではなく何か余興で楽しませてあげたいと思います。

「体が動かすことで、肩や腕だけでなく全身の運動になり、動きを覚えることでボケ防止にもなっています。きっかけはなかなかできたませんが、今後も、虹の会らしくメンバーと楽しく活動を続けていきたい」と話します。



先生の指導のもと、練習に励むメンバー

「動きを口では簡単に言えるけど、なかなか体がついていなくてね(笑)」  
「練習は想像以上にきついですよ。普段使わない筋肉を動かすから、次の日は体中痛くて…。でも、みんなと話をすることが楽しみなので頑張れます」と楽しそうに話す皆さん。代表の丹正さんは、「体を動かすことで、肩や腕だけでなく全身の運動になり、動きを覚えることでボケ防止にもなっています。きっかけはなかなかできたませんが、今後も、虹の会らしくメンバーと楽しく活動を続けていきたい」と話します。

「たのがきつかけで、メンバーを募って練習を始めました。最近では、昨年行われた市制発足一周年記念式典や備中ふるさと祭りでも自分たちの踊りを披露しました。今は、3月12日に地元で行われる文化祭に向けて練習に余念がありません。」